

1. 参加者について

今回の共通言語は英語とし、事前に参加者を英語のレベルで独自に分類した。

以下はその分類基準である。

● 外国籍の生徒

レベル高	英語が第一言語。
レベル中	英語を第二言語として勉強していて、日常会話はある程度できる。
レベル低	単語くらいしかわからない、または日常会話も話すことが難しいレベル。

● 日本国籍の生徒

レベル高	英語ディベートや英語圏への留学の経験を有する者、英検1級を取得しているなど、英語でどのようなトピックも理解でき、話すことができるレベル。
レベル中	日常会話や、簡単な英語なら話すことができる。英検準2級（=高校中級程度）以上のレベルに値する者。
レベル低	英検3級以下の者。日常会話も話すことが難しい。単語くらいしかわからない。

※資格を持っていない者は日常会話がある程度話すことができるかどうかで判断した。

2. 参加人数

● 1回の検証に外国籍生徒1名・日本国籍生徒5名を配置

※「日本の学校のクラスに外国籍の転入生がやってきた場合」という設定のため、日本国籍生徒5名のうち2名以上は知り合いになるように配置した。

※検証を始める5分前から日本国籍生徒同士で自己紹介や雑談をしてもらい、ある程度仲良くなれるようにした。

※検証時にキャンセルした参加者もいるため、日本国籍生徒が必ずしも5人でない場合がある。

（検証番号1：3人 検証番号3：4人 検証番号6：4人 検証番号9：4人）

● 外国籍生徒：計9名（各レベル3名ずつ）

日本国籍生徒：計45名（各レベル15名ずつ）

3. 検証を行ったグループの組み合わせ

1での分類に基づき、以下の表の通り9パターンの組み合わせで検証を行った。様々な言語レベルの者同士の会話を観察し、言語がコミュニケーションに与える影響を検証した。

※参加者が検証に慣れてしまわないように、同じ英語レベルの場合でも参加者は異なる

ようにしている。(例えば、検証番号1と6の外国籍生徒は同一人物でない。)

検証番号	外国籍生徒の英語レベル	日本国籍生徒の英語レベル
1	レベル中	レベル高
2	レベル高	レベル中
3	レベル高	レベル低
4	レベル低	レベル低
5	レベル高	レベル高
6	レベル中	レベル低
7	レベル中	レベル中
8	レベル低	レベル高
9	レベル低	レベル中

4. 検証時間について

検証時間：10分

自己紹介や簡単な雑談ができ、かつグループごとの会話の様子に差が見られ始めるだろうと考えた10分間を目安にした。